

令和4年度 教育部運営方針

部局名 : 教育部

部局長名 : 丸山 理佳

基本方針（政策目標）

学校・社会教育施設などの教育機関を管理・更新し、学校の組織編制や教育課程、教科書採択などの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ振興に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「学校園に対する教育方針」に基づき、様々な教育環境の変化にも対応し、総合的・計画的で先進的な教育行政の推進を図ってまいります。

- ① 教育委員会が所管する施設の効果的・効率的な再配置を検討し、教育施設再配置計画を策定するとともに、小津中学校長寿命化改良工事及び上條小建替工事を進めるにあたり、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、学校と地域の連携・協働の拠点となる地域交流ゾーンを学校内に整備します。
- ② 令和3年度に策定した「第3次泉大津市文化芸術振興計画」のコンセプトである「世代を超えて紡ぎ出す文化芸術でにぎわうまちの未来」の実現にむけ、計画策定で実施したブンカミーティングを引き続き開催し、既存事業の見直しや新規事業化（デジタルアーカイブ事業等）を進めます。
- ③ 小中学校給食において、子どもたちの健やかな成長と発達、健康な体づくりをめざして、オーガニック食材（米・味噌等）を保護者負担を変えずに積極的に使用し、季節を感じたり、子どもたちがわくわくするような特別な給食日である「ときめき給食」を月に2回実施する等、より安心安全で今まで以上においしい給食を提供します。
- ④ 令和4年度から全小・中学校区でコミュニティ・スクールの活動をスタートしました。今後、みらい応援隊とともに、学校・家庭・地域が連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進します。

- ⑤ 留守家庭児童会（仲よし学級）では、令和4年度より全校で長期休業期間限定の利用を可能にし、保護者のニーズに応じた学童保育のサービス向上を図ります。
- ⑥ 図書館シープラは、「すべての市民が価値を創造する図書館」をコンセプトに、従来進めてきた企業等との連携及び市内の学校図書室の連携に努めます。
- ⑦ 小学校1校をモデル校として英語を母国語とする外国人を配置し、児童が英語科以外においても英語によるコミュニケーションの機会をもてるようイメージ教育を実践し、英語教育の質的向上、児童の意識及び英語活用力の向上を図ります。
- ⑧ スポーツ指導者人材バンクを利活用して、学校と地域スポーツ関連団体等による生涯スポーツの普及推進や競技力向上を図るため、人材確保に向けた体制づくりに取り組めます。また、スポーツ庁が推進する中学校における休日の運動部活動の地域移行に向けて、地域部活動の設置や部活動指導員等の配置を段階的に進めます。